



越後妻有里山回廊

～里山をテーマに、地域・世代・ジャンルを超えた人々の協働により、集落・アート・自然を巡遊する里山回廊を形成～



活動目的

「人間は自然の内包される」を基本理念に、アートによるまちづくりを目指す「大地の芸術祭—越後妻有アートトリエンナーレ」事業の推進を通して、越後妻有地域の景観向上、観光振興、そして地域活性化を達成する。

活動エリア

新潟県十日町市、津南町

〈中心となる道路〉

一般国道 117号、252号、253号、353号、403号、405号

県道 49号、76号、178号、219号、284号、334号、340号、480号



- みちいわ整備事業
- 花の道事業
- 祝祭ゲート創造事業
- ポケットパーク整備事業
- 大地の芸術祭作品（群）

主な地域資源

- 里山の自然（棚田、河岸段丘、径庭、信濃川、渋海川、豪雪など）
- 大地の芸術祭によって制作された数々のアート作品



【棚田】



【信濃川と河岸段丘】



【豪雪】



クリス・マッシュズ「中里かしの屋」(2000年、恒久作品)



リチャード・ディーン「マウンテン」(2006年、恒久作品)



土屋公雄「創作の庭」(2003年、恒久作品)



J・M・マルティン「ミルタウン・バスストップ」(2000年、恒久作品)



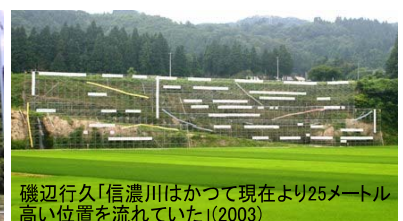
越後大学員舎美術館「アートトリエンナーレ」(2003年、恒久作品)



新田和成「新フィールドプロジェクト」(2003)



イリヤ&エミリア「カバコバ」(2000)



磯辺行久「信濃川はかつて現在より25メートル高い位置を流れていた」(2003)

【大地の芸術祭によって制作されたアート作品（一部）】

これまでの主な活動

◆過去3回「大地の芸術祭—越後妻有アートトリエンナーレ—」を開催

- 第1回展（2000年） 32カ国 148組のアーティストが参加 来訪者数約16万人
- 第2回展（2003年） 23カ国 157組のアーティストが参加 来訪者数約20万人
- 第3回展（2006年） 40の国と地域 203組のアーティストが参加 来訪者数約35万人

◆来訪者のための案内所「トリエンナーレセンター」を設置・運営



◆「2007夏 越後妻有 大地の祭り」（8月1日～9月2日）開催



◆定期観光バス「里山アートツアー」運行



◆来訪者のスムーズな作品鑑賞のために交通案内チラシを作成・配布



◆多彩なイベントを開催



ミュージック&リズムス in 越後妻有
「大地の響け！日韓の鼓動」



里山ミュージックフェスティバル'07
「音・楽・市」

◆第3回芸術祭閉幕後の恒久作品をまとめたガイドマップを作成・頒布



◆アーティストによるワークショップを連日開催



今後の取組み

- 通年誘客に向けたプロモーションや受入サービス向上（交通・サイン・宿泊・インフォメーション等）
- 夏季プログラム（プレイベント）開催
- 冬季プログラム開催
- 第4回展「大地の芸術祭—越後妻有アートトリエンナーレ 2009」開催（平成21年度）
- 第5回展開催に向けた新たな事業構想の策定・推進体制の確立

パートナーシップを構成する組織

- ・ 大地の芸術祭実行委員会
- ・ NPO法人 越後妻有里山協働機構（仮称）
- ・ 新潟県十日町地域振興局地域整備部
- ・ 十日町市建設課
- ・ 津南町建設課